能登やさしいこめづくり情報

令和７年８月
能登米振興協議会
能登米生産者協議会
能登南部営農推進協議会
ＪＡ能登わかば

早生収穫編　「適期刈取り」、「適切な乾燥・調製」で品質向上！！

１　生育概況と当面の管理

・出穂以降の高温少雨の日が続き今後も同様の気象が予想されることから、平年に比べて刈取適期は早まる予想です。

営農情報をLINEで迅速に！
このQRコードから友達登録。
営農情報が迅速に届きます。

【渇水により入水困難なほ場の対応】

・通常より籾の乾燥が進みやすく胴割粒の発生が助長されることから、刈り遅れに特に注意しましょう。
・登熟前半は田面が黒く湿った状態、後半は黒く乾いた状態を保つように走り水を行い、必要最低限の水を供給しましょう。
・地域で話し合い番水・節水等、計画的な水の利用に努めましょう。

２　刈取りまでの水管理　〔ポイント　刈取り直前まで適正な水管理を継続しましょう！〕

・登熟期の水管理は、品質や収量向上に最も重要な管理となります。可能な地域は**間断通水を刈取り直前まで継続しましょう。**

【間断通水の徹底】

ポイント①　乾かさない！ ⇒ **３～５日間隔を目安に通水し、土壌の飽水状態を保ち**ましょう。
＜注意＞なるべく気温の低い**夕方に通水しましょう**。

ポイント②　ずっと溜めない！ ⇒ **気温が高い日中の湛水状態は**根の機能を低下させるため、**避けましょう**。

ポイント③　早期落水しない！ ⇒ 早期の落水は未熟粒や胴割粒の発生を助長するため、**収穫直前まで通水**をしましょう。

３　早生品種の刈取り時期の目安　〔ポイント　籾の黄化率を確認し、刈取遅れはしない！〕

品　種	刈取り時期
ハナエチゼン	8月20日～26日 （籾黄化率　80～85%）
ゆめみづほ	8月22日～28日 （籾黄化率　80～85%）

ほ場によりばらつきが見受けられるため上記の刈取り時期は目安とし、各自**『籾黄化率』**を必ず確認した上で、適期収穫に努めてください。
なお刈取時水分の目安は、平均籾水分25～20%となっています

籾黄化率８０%の穂のイメージ

【高温登熟年：籾の黄化程度による刈取り適期判断の目安】

籾の黄化程度	30%	40%	50%	60%	70%	80%	85%
刈取り適期	16～17日後	13～14日後	10～11日後	7～8日後	4～5日後	1～2日後	適期

高温登熟年は籾の黄化が一気に進む

収穫期間

４　刈取り作業

・刈取り作業の注意点

①刈取り前に、ほ場内のクサネムを必ず除去しましょう。

・クサネムの種子（右の写真）は、ライスグレーダーで取り除けないため、異物混入で落等の原因となります。

クサネム種子（黒い粒：左）

②早期に倒伏した部分や早期に登熟した部分は、別刈り・別乾燥で調製しましょう。

・早期に倒伏した部分は乳白粒等の未熟粒が発生しやすく、水不足等で早期に登熟（ヤケ照り）した部分は、胴割粒・未熟粒・着色粒が発生しやすくなります。

③刈り取った籾は、速やかに乾燥機に張り込みましょう。

・刈取りから**４時間以内に乾燥機へ張込み、通風**しておくことで、ヤケ米の発生を防止することができます。

・水分が高い籾はヤケ米の発生を助長するので、**降雨直後などは無理に収穫を行なわない**ようにしましょう。

５ 乾燥・調製作業

（1） 乾燥作業の注意点

ヤ ケ 米

生籾の長時間
貯留はしない！

胴 割 米

仕上げ乾燥は、ゆっくりと行う。（毎時0.8%以下の乾減率が最適）

過 乾 燥 米

仕上げ水分は、14.5%～１５.0%とする。

（2） 調製作業の注意点

①事前に籾摺機の点検整備を実施しましょう。

・「肌ずれ」、「胴割粒」の発生を抑えるため、籾摺前に**籾水分（１４．５～１５．０%）**を確認しましょう。

・作業開始前だけでなく、**作業中も籾摺りの程度をこまめに確認**しましょう。

・籾が混入している場合は、籾の流入量・ロール間隙・選別機の調整を実施してください。

②ロールの間隙は、籾厚の1／2が目安です。

・ロールの間隙を締めすぎると「胴割粒」や「肌ずれ」、広いと「もみ混入」が発生しやすくなるので注意しましょう。

・ロールが摩耗・劣化している場合は、交換してください。

③ライスグレーダーの網目のサイズはLL 網（1.9㎜）を使用し、整粒歩合80%を目指しましょう。

【適期刈取、適正な乾燥調製作業の徹底!!】

◎ 胴割粒の発生防止のため、収穫作業は籾黄化率 80%から開始し８５%までに終えましょう！

◎ ヤケ米発生防止のため、刈り取った籾は速やかに乾燥機に!!

◎ 無理のない乾燥調製作業で、胴割粒、肌ずれ、籾混入の発生防止!!!

【注意！】エクシード粉剤ＤＬ・エクシードフロアブルは「収穫７日前まで」、キラップ粒剤「収穫１４日前まで」など必ず、散布後日数を確認し刈取してください。

～農作業中の熱中症に気を付けましょう～

暑さに慣れていないと熱中症になる危険性が高まります。
こまめな水分補給・休憩や通気性の良い衣服の着用など、対策を行い、日中の暑さに備えましょう！